

令和5年5月2日

### 岡山市教育委員会『邪馬台国大和説、吉備国は投馬国説』

黄蕨の会 丸谷憲二

4月30日の千足古墳竣工式典での挨拶で、定廣好和会長は大森雅夫市長を大森博士と話され二人の出会いが今回の事業と感じさせました。大森博士の素晴らしい挨拶のベースに、岡山市教育委員会説があり、造山古墳ビジターセンターに掲示されています。

岡山市教育委員会は邪馬台国畿内説で邪馬台国へ至る直前の国、投馬国（トウマ）説。  
『魏志倭人伝と投馬国の考古学』平成26年10月 水野正好説(元興寺文化財研究所所長)



## 2. 弥生時代の吉備の実力



楯築弥生墳丘墓墳丘復元図

今から2,000年前、時代は弥生時代後期。吉備のクニはたいへん栄えます。多くのムラができ、多くの人々が集う大国になったのです。そして強力なリーダーのもと、瀬戸内海から朝鮮半島に漕ぎ出して交易をおこない、やがてリーダーは王となりました。そして、楯築墳丘墓という弥生時代最大規模の墓を築きました。この王は、西暦107年に中国へ使いを送った「倭国王帥升」と考えている考古学者もいます。吉備の王は日本の代表であった可能性があるのです。



楯築遺跡(倉敷市)

## 3. 吉備と邪馬台国

邪馬台国とは、中国の歴史書に書かれている、3世紀ごろの倭国(日本)の中心となるクニのことです。弥生時代後期末から古墳時代



鉄の流通ルートと邪馬台国

代前期初頭に相当します。完全に鉄器時代となりましたが、当時の鉄は全て朝鮮半島からの輸入品でした。最初は、日本海と瀬戸内海の海上ルートで全国に流通していましたが、吉備の王と大和の王が手を結んで瀬戸内海ルートに一本化しました。そのため、交易で生じた富が集中することになり、王墓(最初の方後円(方)墳)は瀬戸内海沿



いに分布します。大和は邪馬台国で、吉備は邪馬台国に次ぐ大国であった投馬国に相当するとも考えられます。

岡将男さんと私は邪馬台国吉備説です。邪馬台国吉備説に立ち、造山古墳と千足古墳の埋葬者を推定します。千足古墳は吉備津彦命の息子説で、造山古墳は吉備津彦命の父親説です。吉備津彦命の息子と父親の名前をご存じですか。







# 邪馬台国と吉備勢力

福本明説(岡山商科大学)

## 第4回 定説への叛乱 in 岡山

蔭涼寺・岡山市北区中央町



福本明氏「楯築弥生墳丘墓とその時代」

丸谷憲二『地名学では邪馬台国は岡山です』

津曲真人氏「卑弥呼は二度葬られた」